

株式会社おてつたび

事業名: 既存サービスを高齢者にも利用してもらうための実証実験

Q. 実証事業に応募したきっかけを教えてください。

自分自身の起業のきっかけが、出身地である尾鷲市の魅力を知ってもらいたいということでした。ずっと三重県の魅力を伝えたいという思いはありましたが、なかなか難しかったため、このクリ“ミエ”イティブ実証サポート事業で、三重県庁からもサポートいただきながら、三重県内での活動を広げたいと考えました。

Q. 三重県で実証して良かった点を教えてください。

三重県庁の担当職員の方のサポートがありがたかったです。今回の実証事業では、熊野市役所と連携しながら、新しくおてつたびのサービスに登録していただく方を募集していました。三重県には、熊野市役所と私たちのハブとなっていたことで、その後スムーズに熊野市と事業を進めることができたと考えています。

Q. 本事業で何を実証したのか教えてください。また、その結果もあわせて教えてください。

おてつたびのサービスは、これまでITリテラシーの高い方を中心にご登録いただいていた。今回は、ITに馴染みのない高齢者の方にもご登録いただけるよう、実証事業を行いました。具体的には、市役所の方と連携しながら、登録いただいた高齢者の方が、自らサービスを使っていたり、自走化のサポートを行いました。熊野市で作った連携モデルは、他の地域でも活かすことができると考えています。また、ご登録いただいた高齢者の方へのヒアリングを通じて、おてつたびのサービスが使いやすくなるようシステムの改良等も行いました。

Q. 今後、この実証事業を三重県または全国でどのように展開していくのか教えてください。

今後も引き続き、熊野市の中でおてつたびに登録してくれる事業者を増やし、またおてつたびのサービスを利用して熊野市に来てくれる人を増やしていきたいと考えています。また、今回の実証事業は熊野市で行いましたが、熊野市だけでなく、三重県内にこの取り組みを広げていきたいと思えます。

< 三重県担当職員からひと言 >

地元の事業者の方から「こんな事業を待ってたんや！」との声をいただくなど、人手不足を解消するおてつたびさんのスキームはとても喜ばれていました。同じ課題を抱えるほかの地域にも待ち望まれているサービスだと思います。今後の活用地域の広がり期待しています！
(創業支援・ICT推進課 西尾さん)



< 実証事業の様子 >

